

梅窓院通信

No.142

2026/06/01

青山



ご先祖を偲ぶ、精霊棚のしつらえ。

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成

今年もはや半年が過ぎようとしていますが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

今年の春彼岸法要では久しぶりに導師を勤め、塔婆供養、そして法話をさせていただきました。お彼岸の中日は雨模様だったこともあり、参列者は多くはありませんでしたが、皆様と対面しての法要は良いものでした。

翌日は好天に恵まれ多くの皆様がお墓参りにお見えいただきました。ここでお願いですが、お墓参りの折には、できますれば、お墓参りの前に本堂に上がっていただき、ご本尊の阿弥陀如来様をご参拝いただけるようお願い申し上げます。

私も浄土宗では、念仏者は往生すると阿弥陀如来様の極楽浄土に生まれ変わられ、阿弥陀如来様のもと仏道修行に励まれるのです。ですので、ご先祖様でもご家族の方へのお墓参りでも、お墓参りの前に本堂のご本尊様への参拝をお忘れないようにしてください。

さて、前号でもお伝えしていた客殿の改装が終わりました。畳の間を全面フローリングに変え、廊下と小上がりとの段差もなくしましたので、靴のままご利用いただけます。もちろん、車椅子での出入りにも全く支障がなくなりました。ご葬儀にご利用いただく際の利便性も向上いたしました。

こうした施設の改修とともに、墓苑の参道工事も全て終わりました。長期にわたる工事で、檀信徒の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたが、ようやく全ての工事が終わり、全ての参道がゴムチップの道路となり、転ばれても安全ですし、雨水も溜まらないようになりました。

私が住職となった当時は、参道がまだ土でしたので、雨が降ると水が溜まり、泥々になっていました。およそ三十年の月日が経ちましたが、ご高齢の皆様や車椅子の方にも安心して参拝いただける墓苑に整備できたことで住職としての課題を一つクリアでき、ようやく一安心しております。



陰暦七月のお盆暦

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦

地球温暖化などの影響で、日本列島の春夏秋冬、四季の移り変わりも大きく変わりつつある。春と秋の期間がだんだん短くなり、夏季と冬季の二季化が進んでいるなどと言われている。

たしかに夏季の気温ひとつを取り上げてみても、夏日、真夏日、猛暑日の日数の増加や、40℃以上の呼称法が取り沙汰されるなど、今年の夏もすでにたいへんな状況と言える。実際、この暑さ、熱さにはなかなか身心が追いつかず、身の処し方、心の置き方にとまどいつたじろぐばかりである。

さて七月、八月——、七月盆、月遅れの八月盆の月である。猛暑・酷暑が当たり前となつてしまった盛夏の消夏法にでもなればと願いつつ、初秋陰暦七月のお盆時分の仏教暦をここでは紹介してみたい。

陰暦七月は季の区分で言えば初秋である。その七月一日を盆入りとする地方もある。いわゆる地獄の釜の蓋が開く日で、釜の口明き・釜蓋朔日である。亡者の精霊が旅立つ日とされ、蜻蛉朔日などとも言い、蜻蛉を亡き精霊と一体であると考え、そのいのちを尊ぶのである。

お盆を迎えるための盆用意・盆支度も七月に入れば少しずつ整えはじめ

ければならないが、墓地などの草刈りや清掃をして盆路・精霊路を正して盆路作りをする。これを朔日路とも言ふから、たしかに七月一日からお盆の準備をした地方もあり、すでに六月中旬に盆前の心構えをして、路刈り・路薙ぎをしているところもあった。

しかしお盆お盆始め・盆の始まりは七月七日とするところが多く、いわゆる七日盆・磨き盆・池替え盆・井戸替え盆など、仏具磨きや墓掃除・墓薙ぎ・掃苔に尽くすのである。東北地方のねぶた・卒燈などの眠流しの行事などには七夕と盆入り七日盆の行事の習合が見られるのである。

生身霊・生き盆は、父母や年長者の長寿を祈ることであるが、七月八日から十三日までの吉日に盆肴として刺鯖・差鯖を供える風が西日本を中心に広く行なわれた。背開きにした塩漬けの鯖を二枚一重ね、一刺しにしたものである。

七月十一日から十三日にかけては、盆花・精霊花の準備、盆花迎えである。そして草の市・草市・盆の市・盆市・手向の市などの盆用品売りの出店もでき、かつてはにぎやかな真菰売・燈籠売などの光景が見られたのである。

お盆の期間は、普通は七月十三日から十五日、あるいは十六日までとされ

ている。盂蘭盆会・魂祭・精霊祭である。十三日の夕方は迎え火・門火・芋燬火・樺火を焚く魂迎え・精霊迎えである。新盆・初盆・あら盆・新精霊の家では、魂待つ思いもひとしおのものである。家々では盆棚・魂棚・精霊棚へ、茄子の馬・茄子の牛・瓜の馬・瓜の牛などの供え物を篤くして、僧侶の棚経の読経もねんころである。

そして十五日または十六日が送り盆・終い盆・裏盆で、送り火・魂送り・精霊送りの営みとなる。精霊舟・盆舟・送舟・燈籠舟を川や海や湖沼に浮かべて、流燈・燈籠流し・精霊流しのゆかしくもせつない精霊との別れである。八月十六日の有名な京都の大字も精霊送りの送り火・施火である。

お盆の期間が終えて、季語欄には盆過ぎがあるが、地方によっては七月二十日を盆の終わりとしているところもある。しかしこのほかに、盆踊をはじめとするお盆に由来する諸行事は各地に広く行なわれて今日に至っている。

盆花に映る精霊の笑い顔
盆棚へ添えるひと品我がこころ

拙い伝道句を記して、まずもって猛暑をおだやかに乗り切りたい。

(大正大学名誉教授)

二・三・四月の

行事報告

第91回
念仏と法話の会
2月18日(水)

はなまつり
4月2日(木)
〜8日(水)

令和8年春彼岸法要
3月20日(金・祝)



春彼岸法要



花まつりで飾られる花御堂



立川小談志師匠の寄席は笑いあふれるひとときとなりました！

増上寺御忌大会
4月4日(土)
詠唱奉納大会



郡上八幡ふるさと展は今年も賑わいを見せました。

お盆 七月十二日(月)

盆施餓鬼会法要

午前十時二十分〜 祖師堂

- ・場所や内容が変更となる可能性があります。
- ・祖師堂入口はご利用いただけませんので、ご注意ください。
- ・会場内の空調は微調整が難しいため、ご自身で温度調整できる服装でご来寺ください。

お たな ぎょう 御棚経

7月13日(月)〜15日(水)

御棚経については同封されている「お盆について」をご覧ください。また、不明な点がございましたら梅窓院僧侶までご相談ください。

盆施餓鬼会 塔婆・回向お申込み方法とお知らせ

◆お申込み方法

塔婆回向 1 本	10,000円
御回向料 1 霊	5,000円

同封のはがきにご記入の上、7月1日(水)必着でお申込みください。

当日の法要にご参加される方は、出席人数も合わせてご記入ください。

はがきの書き方は同封の「書き方例」をご参照ください。

現在、郵便物の投函から到着までの期間が延びております。

塔婆をお申込みの際は、早めのご投函をお願いいたします。

また、直前のお申込みの場合は、お電話でも受け付けておりますので、どうぞご連絡ください。

◆お支払い方法

塔婆回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払いいただくか、受付までお持ちください。

銀行・コンビニでのお支払いはできません。

また、払込取扱票に記載の口座番号00130-4-93033

はお支払い金額ではございませんので、ご注意ください。

◆お塔婆のお渡し

法要終了後にお渡しいたします。ご欠席の場合は後日、僧侶にて建てさせていただきます。

ご不明な点は梅窓院受付までお問い合わせください。

お盆によせて

お盆とは正式名称で「盂蘭盆」といい、サンスクリット語の「ウランバナ(逆さ吊りの苦しみ)」という言葉を中国で音写したもので、そのまま日本に伝わりました。中国でも七月十五日に似たような文化は残っているようです。

この盂蘭盆ですが、実は由来となるお話がお経の中で語られており、ウランバナの意味も語られています。この苦しみとは、お釈迦様の弟子である目連様が、亡くなった母親が餓鬼道へ落ちて苦しんでいる姿を見つけた時の苦しみのことです。その目連様が、九十日間の集団で行う修行の最中に、どうしたら母親を救ってあげられるのか、とお釈迦様に教えを請うというお話です。

なぜ餓鬼道へ落ちてしまわれたかという、目連様の母親は自分の子供には優しい方でしたが、自分の子供以外には施しをしなかったからです。母親をどうしても救いたかった目連様はお釈迦様から、「修行が終わる最終日の七月十五日に、多くの僧侶へ飲食の施しをすれば、その功德にて母親を救うことができる」と教えを受けました。また「今後も同じように供養することで、餓鬼道へ落ちた先祖も救える」との教えも受けられたと記述されています。

このような教えが「盂蘭盆経」として日本へ伝来し、お盆という行事になっています。

お盆の時期は暑く、外へ出るのも大変かとは思いますが、お墓参りや、お供えなどをして、一緒にご先祖様の供養いたしませんか！

(法務部 西田有希)

特集 盆施餓鬼会に寄せて

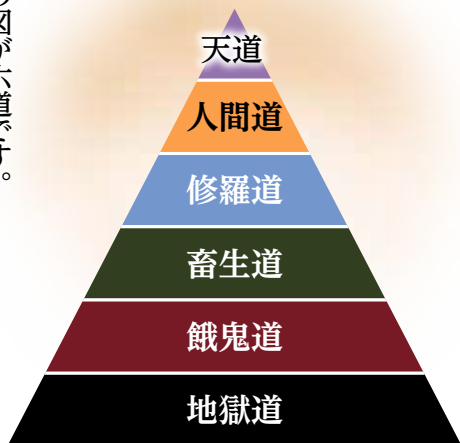
無財の七施、というちょっと不思議なお布施についてのお話です



今の私がいるのはご先祖のおかげ。このご先祖をお迎えしご供養するのが、お盆法要です。梅窓院ではこのお盆法要に今年から施餓鬼法要も一緒にしています。お盆法要については本紙3ページのお盆の由来をお読みください。ここでは施餓鬼会の由来、そして普通のお布施と皆さんがあまりご存知ないちょっと不思議なお布施についてお話しします。

施餓鬼会はその字の通り、餓鬼に施すための法要のことです。

餓鬼と聞いて皆さんは何を思い浮かべますでしょうか。そうです、餓鬼とは六道輪廻という私たちが生まれ変わる世界の二つです。



右の図が六道です。

今の私たちは人間道の世界に生きていますが、この人間道の上が天道、下が、修羅道、畜生道、そして餓鬼道です。そしてこの餓鬼道は、飢えと渇きに苦しみ続ける世界で、地獄より上にあるものの、とても苦しい世界です。なぜなら、今私たちがいる人間道でお腹が減ったり、喉が渇いても、食べ物や飲み物で癒すことができますが、餓鬼道では何かを食べ

たり飲もうとすると、その食べ物や飲み物が炎に変わってしまい、食べられない、飲めないという餓えの世界です。

そして、この世界にいる人々を救いましょう、というのが施餓鬼会です。この施餓鬼会は仏教諸宗派の共通行事で、行う時期に決まりはありません。

仏教の始まりは、ひとり悟りを求めるもの（小乗仏教、今は上座部仏教）でしたが、やがて、みんなで助け合いながら悟りを開こうという大乘仏教が生まれました。この大乘仏教は利他行といって、他人を救ったり大切にすることを、この施餓鬼会はまさにその実践そのものです。ですから大乘仏教の浄土宗にとつては大切な行事です。そして、この施餓鬼の由来はお釈迦様の時代に遡ります。

ある日、お釈迦様の十大弟子の一人、阿難尊者の前に餓鬼が現れ、「三日後にお前は餓鬼道に落ちる」と告げられます。まだお釈迦様の教えを聞きたかった阿難尊者は、餓鬼道に落ちない方法をお釈迦様に聞いたところ、多くの餓鬼に施しをすること、と教わりました。そこで、阿難尊者がその教えに従ったとこ

無財の七施とは



ごんせ
言施

思いやりのある言葉をかける。



げんせ
眼施

やさしいまなざしを向ける。



がんせ
顔施

穏やかな笑顔で接する。



ぼうしゃせ
房舎施

雨風をしのげる場所・安心できる場所を提供する。



しょうざせ
床座施

座る場所や立ち位置を譲る。



しんせ
身施

身体を使って人の役に立つ行動をする。



しんせ
心施

思いやりの心を持って相手に接する。

顔施……笑顔
眼施……優しい眼差し
言施……優しい言葉

その「七施」とは、

まず、お金の有無が重要視されがちな現代にはあまり聞いたことのない「お布施」かもしれません。その「七施」とは、
お布施ではないでしょうか。
ですが、財施の中に「無財の七施」という不思議な施しがあります。無財、お金や物がなくても施せる、という不思議な「お布施」なのです。お金の有無が重要視されがちな現代にはあまり聞いたことのない「お布施」かもしれません。

これが三つの「お布施」ですが、皆さんが「お布施」と言っている思い浮かべるのは最初の財施、お金ではないでしょうか。
ですが、財施の中に「無財の七施」という不思議な施しがあります。無財、お金や物がなくても施せる、という不思議な「お布施」なのです。お金の有無が重要視されがちな現代にはあまり聞いたことのない「お布施」かもしれません。

財施……お金や物を施すこと
法施……教えやものの見方を施すこと
無畏施……恐れ取り除くこと

ろ、その命を長らえることができた、という話に始まります。
このように大乘仏教にとって、この施し、「お布施」はとても大切な行為です。そして、この「お布施」には大きく次の三つがあります。

梅窓院の盆施餓鬼会で、お隣に座った方に、「今日は、よろしくお願いいたします」と笑顔でお声がけしてみてください。
そして、「ご家庭でもこんな不思議なお布施があるよ」と説明して、「夫婦で、親子で実践してみてください。間違いなく、お互いの気持ちが繋がっていくはずですよ。」

ここで大切なのが、目で見えない、耳に聞かない心の中です。心の中は本人にしかわかりません。夫婦や親子、兄弟姉妹でも心の中は覗けません。この見えないものを大切にすることが仏教です。
この無財の七施(四施)、ぜひ実践してみてください。

最後の二つ、席を譲る床座施と場所を提供する房舎施は、提供できる席や場所がある前提なので、無財とも言いにくいところはありますが、前の五つは何もなくてもできる「お布施」です。
そして無財の七施はどこでも実践できます。このおすすめの実践とは、四施になります。優しい眼差しの笑顔で、心からそう思っている、相手を思いやる言葉をかけることです。

心施……心から思いやる気持ち
身施……身体を使ってお手伝い
床座施……席を譲る
房舎施……場所を提供する

最後の二つ、席を譲る床座施と場所を提供する房舎施は、提供できる席や場所がある前提なので、無財とも言いにくいところはありますが、前の五つは何もなくてもできる「お布施」です。

今回は6月に青山の秩父宮ラグビー駐車場で開催される郡上おどりに合わせ、郡上おどり保存会の

会長にお話を伺いました。会長は長年の副会長時代から、海外展開や将来を見据えた100年構想など、郡上おどりの発展に大いに寄与されていらっしゃる方です。

◆本日はよろしくお願いいたします。会長は令和4年に郡上おどり保存会会長に就任されましたが、それまでの副会長時代も含め印象に残っていることは何でしょう。

会長(以下) はい、平成2年のロサンゼルスでの国際芸術祭に、日本代表として参加、郡上おどりを世界の人々に披露したことが、初の海外公演でした。

◆盆踊りの海外進出ですか。

はい。2020年の東京オリンピックでも、日本オリンピック協会や小池百合子東京都知事にもお願いし、開会式で郡上おどりを世界に向け発信できるはずでしたが、コロナがあり、閉会式での映像発信だけとなりました。

また、昨年のお大阪万博では、岐阜県デーに郡上おどりを世界の人たちと一緒に踊ることができました。どちらも世界平和と人類の安寧を祈念するためです。

◆郡上は梅窓院の開基である青山家の故郷、その岐阜県の山村の伝統芸能が世界に発信されているのですね。

はい。会長になった令和4年が、郡上おどり保存会の100周年でした。記念に写真集を作るために過去の記録を調べると、会の維持のために町長や議員が会長を務めたり青年会が支えたり、存続のための苦労が多かったようです。

◆何事も継続するのは大変ですからね。

伝統芸能は単なる行事ではなく、信仰心や神仏への祈りが根底にあるから継承されると思っています。日本の三大盆踊りのひとつ、郡上おどりも、お盆と先祖崇拝という慣習が根っこにあり、各町内の神佛祭祀の縁日です。目には見えないものですが、人々の信心が保存会を100年続けさせてきたと思います。

◆なるほど。梅窓院でも奉納という言葉を使います。

こうした歴史を振り返り、問題点を整理し、これから100年に向け、対応策を検討し、具体化しています。

◆それはすごいですね。お話を聞いていると会長の発想や行動力に驚くばかりですが、お仕事は何を。

家は21代前の先祖まで遡れる農家で、私は昭和18年に長男として生まれました。父が早逝したことから私が起業、車関係の仕事中心に色々やっています。230年前の実家を移築、宿屋をやったりもしています。

プロフィール

平成6年より地方(八幡町、郡上市)議会議員として活動。令和3年春、叙勲。
「令和4年ユネスコ無形文化遺産登録を契機に、より一層郡上おどりを誇りに思い、郡上の、日本の、そして世界の宝ものとして、地域振興芸能文化発展と世界の平和、人類の安寧を願い保存継承活動に努めてまいります」



◆そうですね、そうしたご自分の経験が活かされているのですね。郡上おどり保存会に欠かせない方ですね。

いいえ。ただ、何事も前向きで実行派なので、郡上おどり運営委員会にもできることをやろうと働きかけ、そして、みんなで郡上おどりの発展に努めています。

◆ちなみに保存会は何人いらっしゃるのでしょうか。

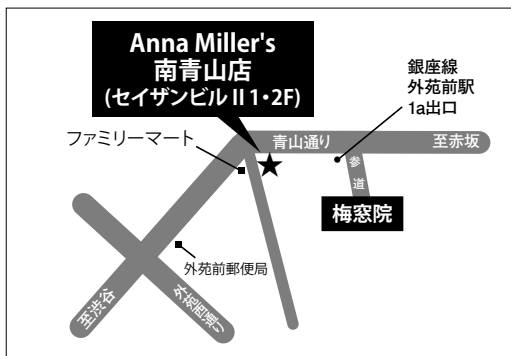
58人です。それに小学4年生から高校生までのジュニアが15人です。嬉しいことに、今は小中学校でも民謡や郡上おどりの時間が組み込まれたり、郡上市としても郡上おどりを発信していこうと意気込んでいます。

◆それは素晴らしいですね。郡上市の市長さん(前号参照)や観光協会の会長さんも新しい方になったと聞いています。何やら郡上に新しい風が吹き始めたようですね。本日はありがとうございました。



浴衣姿で郡上おどりを踊られている

Anna Miller's(アンナミラーズ) 南青山店



営業時間／月曜日～土曜日 9:00～21:00
 日曜日・祝日 9:00～20:00
 【月曜日が祝日の場合】
 日曜日 9:00～21:00(L.O. 20:00)
 祝日 9:00～20:00(L.O. 19:00)

定休日／なし
 ※予約不可
 席数／1F・2F合計 約30席
 住所／東京都港区南青山2-26-34
 セイザンII(1F・2F)



こだわりのパンズとジューシーなパティが自慢のハンバーガー。



できたてのホームメイドパイが並びます。

今年の2月、梅窓院より徒歩1分のビルにオープンした「アンナミラーズ」をご紹介します。

2022年8月に高輪店を閉店して以降、オンラインショップや催事での販売を実施されてきましたが、多くの方から店舗再開を望む声が寄せられ、1号店を出したゆかりの地である南青山の地に待望のオープンとなりました。

アメリカ東部ペンシルバニアに住む「ペンシルバニア・ダッチ」の素朴で温かい家庭料理を原点とし、1973年よりアメリカンフードとホームメイドパイを提供しているレストランです。店内手作り、いわゆる「スクラッチメイド」スタイルを大切に、ショーケースに並ぶ



アンナミラーズの象徴的なロゴが映える店内。

作り立てのパイはパイ生地からカスタードクリームまで店内で丁寧に仕上げられています。2階のイートインエリアにはテーブル席とカウンター席を備えており、ゆったりと食事を楽しむことができます。

代表的なメニューには、程よいりんごの酸味と甘みが魅力のアップルパイのほか、手捏ね160gのビーフパティを使った本格派ハンバーガー、パストラミビーフ・ザワークラウト・エメンタルチーズを使ったパストラミルーベンサンドなどがあります。

梅窓院へお越しの際には是非お立ち寄りいただき、イートインとテイクアウトいずれもお好みのスタイルでお楽しみください。

あの世があるから この世が楽しい

帯津良一



2 ホリスティック医学

李岩先生が、私の病院を開いたことを知って

今年の二月で、私は九十歳を迎えました。これまで何歳まで生きるであろうと予測したことはありませんし、何歳まで生きたいと望んだこともありませんので、殊更、感慨ということもありません。

しかし、誕生日の十七日の前日の十六日に、私の病院が九十歳のお祝いをしてくれたのを皮切りに、何度かお祝いの席を設けられてみると、何かほのほとした気持ちになってきます。

実際、いつの頃からか、あの世が、ごく親しい存在になって来ました。太極拳の楊名時先生をはじめ、私を育ててくれた小母さん、病院の初代看護師長の山田幸子さん。親友中の親友の外科医である片柳照雄先生などが手薬煉を引いて待っています。お呼びがかかれば、飛んで行きます。

しかし、お呼びがかからないのに行くことはありません。この世だって、まだまだ捨てたものではありません。仕事は楽しいし、酒は旨いし、女性も色気たっぷりです。だから、死ぬその日まで立ち働いて、死ぬその日まで酒を呑み、死ぬその日まで女性とハグをして暮らしていきたいと思えます。まさに、人生の幸せは後半にあり、ナイスエイジングの日々です。

閑話休題、話を元に戻しましょう。私が北京がんセンターでお世話になった

「あなたの処の漢方薬は俺に任せろ！」と言って何回もやって来て指導してくださったおかげか、中西医結合が軌道に乗り出したところへアメリカのホリスティック医学の到来です。

ホリスティック医学(Holistic Medicine)、命(Spirit)とは体(Body)、心(Mind)、命(Spirit)が一体となった人間まるごとをそっくりそのままとらえる医学ですが、あまりにも要素還元主義に陥ってしまった西洋医学に対する反省あるいは批判から一九六〇年代のアメリカの西海岸に生まれた考え方とされていますが、その基本となる全体論(Holism)は南アフリカ連邦の哲学者にして大統領まで務めたジャン・クリスチャン・スマッツ(J. C. Smuts)の提唱するところでは、

全体は部分の総和としては認識できず、全体は全体としての原理的考察が必要であるとする考え方と言われています。

がんという病気は体だけの病気ではなく、心も命も深く関係した病気であると思っていた私はすぐに飛びつきました。そこで降矢英成先生をはじめとする東京医大の若い内科の先生方と語らって、一九八七年九月に日本ホリスティック医学協会を発足させたのでした。

閑話休題、話を元に戻しましょう。私が北京がんセンターでお世話になった

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

お檀家様から「もうすぐ母の日だけれども卒塔婆建てた方が良いかな?」とのお尋ね。

「えっ?お母様亡くなられた??」。そんな話、聞いていないと焦って伺ったら「元気ですよ。以前、森さんが卒塔婆はお手紙みたいなものだから建てると良いって言ったでしょ?」

確かに法要の時に卒塔婆をお建てするの、と相談を受けた際にそう申し上げていました。「はい、でもそれは仏様の法要の際の話ですよ。母の日なら、お母様には何かプレゼントでも、電話を掛けるのでも、本当のお手紙でも送ってください。母の日に卒塔婆は建てなくてよいですよ」

その後、そのお檀家様には、この話はお母様には絶対言わないようにしてくださいね、と口止めされました。(今、この青山を読んでおられるお母様が「もしかしてうちの子?」と思われたらその通りです)

こんなに楽しい会話ができるのもこのお仕事をさせていただいているからと感謝しております。もし「母の日に塔婆を建てたい」と梅窓院受付に申し込みいただいたら、同じようにお断りするので、お母様がお墓に行った際に自分の名前が載っていることは無いのでご安心ください。

(墓苑事業部 森)

行事予定

第92回 念仏と法話の会

6月2日(火)

13時(受付開始 12時30分) 観音堂

法話:喜びの中の喜びなり

講師:長野県長野市 善光寺山内徳行坊

住職 若麻績大成上人

※参加費無料です。お申込はメール・お電話・FAX・梅窓院受付にて承っております。詳しくは梅窓院ホームページをご覧ください。

お申込みはこちらから。

念法会申込フォーム▶



盆施餓鬼会法要

7月13日(月)

法要 10時30分 祖師堂

※詳細は3面をご覧ください。

発行 梅窓院

発行日 令和8年6月1日

発行人 中島 真成

編集 広報部

住所 〒107-0062

東京都港区南青山2-26-38

電話 03-3404-8447

FAX 03-3404-8107

ホームページ <https://www.baisouin.or.jp/>

E-Mail jodo@baisouin.or.jp

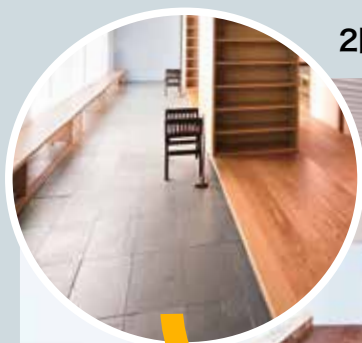
題字 中村康隆元浄土門主

総本山知恩院第八十六世門跡

梅窓院からのお知らせ

「2階客殿について」

2階客殿を全面フローリングに改装いたしました。



靴を脱ぐ必要がなく、土足や車椅子のままご利用いただけます。法要や後席にぜひお役立てください。

お檀家さんに伺いました

令和8年 修正会にて

「詠唱を通じて」

梅窓院へは、詠唱がきっかけで足を運ぶようになりました。私は能楽の笛を伝える立場にあるのですが、仏教の芸道である詠唱に興味を持ち、ご縁があり、梅窓院で見学できると知って参加したことが始まりで、今では楽しく詠唱に参加させていただいております。

梅窓院では、詠唱を通じて他のお寺にはない多くの方々との関わりが生まれ、また寄席などさまざまな行事が行われているところに魅力を感じております。今後も詠唱を通じて、多くの行事に参加させていただければ幸いです。